

京都にい(生・活)きる

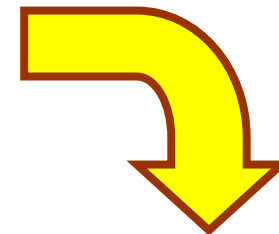
— 京都府社会の「今」 —

1. 文化と環境
2. 産業と労働
3. 福祉と医療
4. 教育と学習
5. 安全と基盤

(おことわり) この資料に掲載のデータについては、いずれも全国との比較のため京都府の平均値等を使用しており、府内各地域・市町村等の特性や事情が考慮されたものではありません。

「明日の京都」ビジョン検討PT
(政策企画部調査統計課)

1. 文化と環境



(テーマ)

京都の持つ環境先進性、文化精神性を日本人の暮らしと心に取りもどす

(データ等から見える京都府の「今」)

- ◎京都府は比較的エネルギー負荷の少ない生産構造にあります(表1-①)
- ◎次世代に向かう環境関連の産業があります(図1-②)
- ◎重要文化財が多く、身近な暮らしの中に受け継がれています(図1-③)
- ◎茶道や華道などにより伝統や文化が生活に生きています(図1-④)

(京都府の「今」)

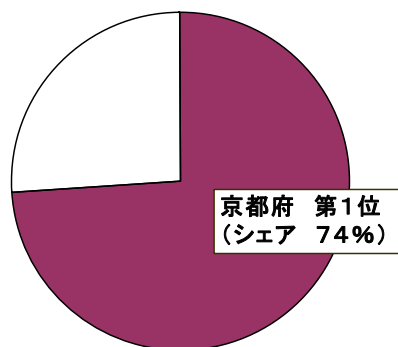
(表1ー①) 県内総生産100万円当りのエネルギー消費排出量の都道府県ランキング

都道府県	エネルギー消費・排出量 ／県内総生産
1 東京都	0.01464
2 大阪府	0.02555
3 京都府	0.02564
4 長野県	0.02793
5 山梨県	0.02928
...	...
43 千葉県	0.05453
44 愛媛県	0.05919
45 大分県	0.07287
46 岡山県	0.07366
47 山口県	0.08118

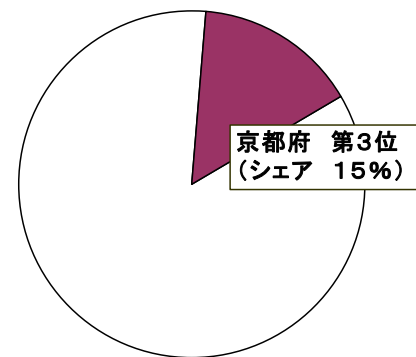
<出典: 戒能一成「都道府県別エネルギー消費統計2004」、内閣府「平成17年度県民経済計算年報」>

(図1ー②) 京都府内で生産される環境関連の製品

■大気、水などを監視し、快適な環境を守る「公害計測器」の工業出荷額(第1位)



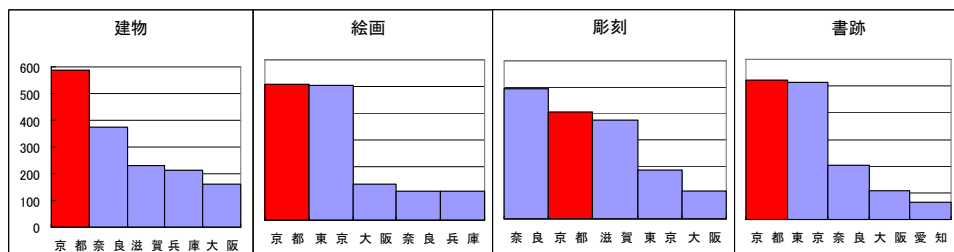
■エネルギーロスが少なく、次世代クリーンエネルギーのインフラとなる「リチウムイオン電池」の工業出荷額(第3位)



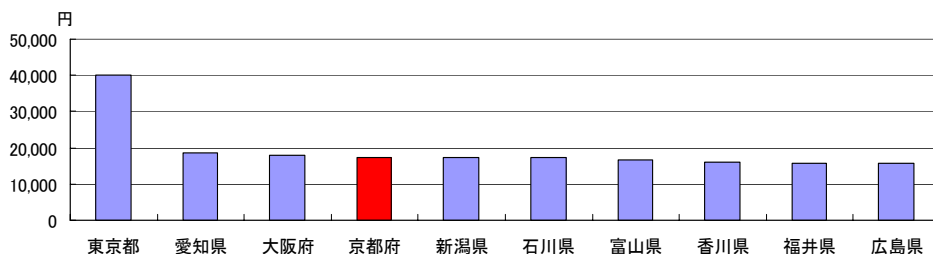
<出典: 経済産業省「工業統計表」(2006年)>

(図1ー③) 重要文化財の指定状況と関連産業の状況

■主な重要文化財の都道府県別の指定件数

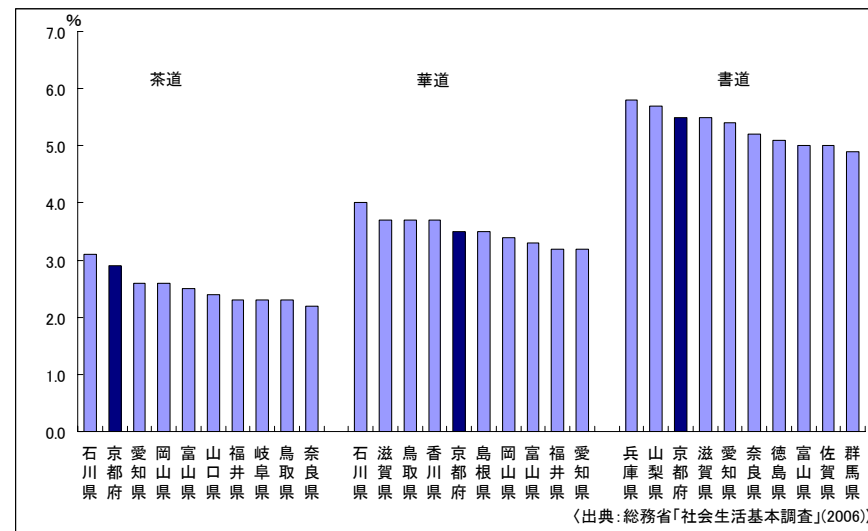


■書籍・雑誌小売業年間商品販売額(人口一人当たり)



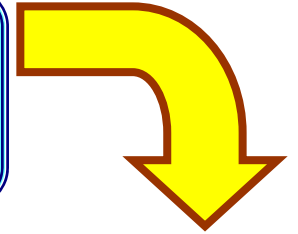
<出典: 文化庁HP(H21.4.1現在)、経済産業省「商業統計」(2006)>

(図1ー④) 茶道・華道・書道を趣味・娯楽とする人の割合 上位10都道府県



<出典: 総務省「社会生活基本調査」(2006)>

2. 産業と労働



(テーマ)

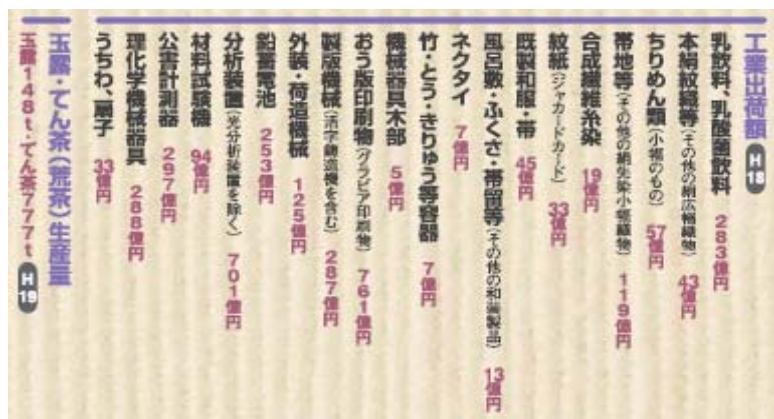
歴史と伝統あるものづくりを極めるとともに、一人ひとりの仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を実現する

(データ等から見える京都府の「今」)

- ◎京都府には誇れるものづくりがあります(表2-①)
- ◎伝統と本物の価値を「京都ブランド」が示しています(図2-②)
- ◎豊かな資源を活かした観光があります(図表2-③)
- ◎京都の女性は豊かな時間の使い方を実践しています(表2-④)

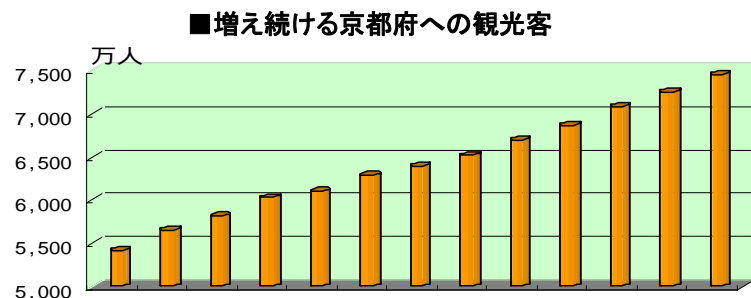
(京都府の「今」)

(表2-①) 京都府の工業出荷額等の全国1位ランキング品



＜出典：京都府情報誌vol.2「京都NOW」(京都府広報課)＞

(図表2-③) 京都府への観光の状況



＜出典：京都府商工労働観光部観光課調べ＞

年

■ 海外からの旅行者の5人に1人が京都へ(全国第3位)

年度	平成13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
東京都	① 56.5	① 52.7	① 54.5	① 58.2	① 58.5
大阪府	② 25.2	② 27.8	② 27.0	② 21.6	② 22.6
京都府	③ 15.8	④ 14.7	④ 15.2	③ 17.4	③ 19.1
神奈川県	④ 15.6	③ 15.6	③ 15.8	④ 16.4	④ 18.9
千葉県	⑤ 11.2	⑤ 13.2	⑤ 12.1	⑤ 13.0	⑤ 15.4
延べ訪問率	204.4	210.7	198.2	209.0	220.7

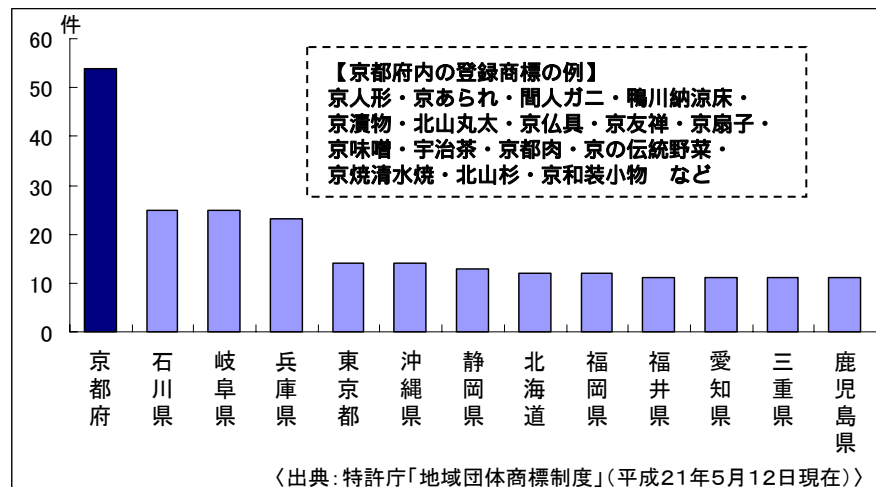
(注) 1 国際観光振興機構「JNTO訪日外客訪問地調査2005～2006」による。

2 訪問率とは、「今回の旅行中に当該地を訪問した」と答えた回答者数÷全回答者数×100により求めたもの。

3 延べ訪問率とは、各都道府県の訪問率を足し合わせたもの。

＜出典：平成19年版観光白書(国土交通省)＞

(図2-②) 地域団体商標制度の登録件数上位10都道府県



(表2-④) 女性(有業者)の3次活動時間の「多さ」の推移と状況

■ 京都府のランキングの推移

年次	都道府県 ランキング	時間 (分)
1991	13	276
1996	30	279
2001	17	310
2006	1	326

■ 全国のランキング(2006)

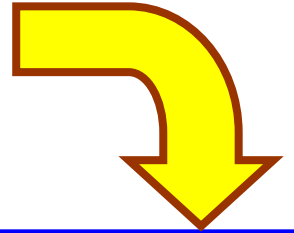
順位	都道府県	時間(分)
1位	京都府	326
1位	愛媛県	326
3位	愛知県	320
4位	北海道	316
4位	東京都	316
全国平均		301

(参考)

3次活動：各個人の自由裁量時間に行う(いわゆる余暇活動)行動(移動、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・研究、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養、その他)

＜出典：「社会生活基本調査報告」(総務省統計局)＞

3. 福祉と医療



(テーマ)

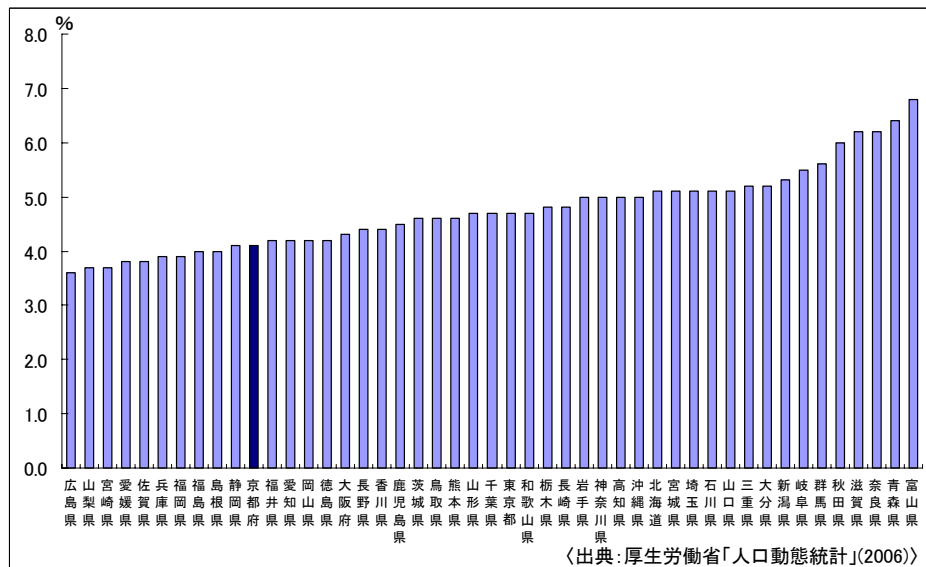
だれもが、どこでも普通に安心して暮らす(ノーマライゼーション)
ことのできる共助型の福祉・医療社会をつくる

(データ等から見える京都府の「今」)

- ◎京都府では周産期死亡率が低く、次世代の命を大切にしています
(図3－①)
- ◎健康の基盤をつかさどる人口当りの医師数は全国1位です(図表3－②)
- ◎健康への意識の高さがうかがえます(表3－③)

(京都府の「今」)

(図3—①) 都道府県別の周産期死亡率



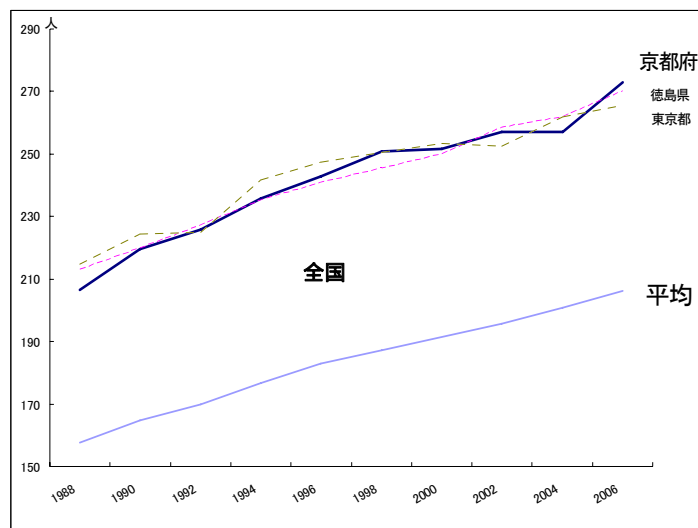
(表3—③) 施設内全面禁煙を行っている
病院の割合：上位10都道府県

順位	都道府県名	割合(%)
1位	石川県	61.5
2位	京都府	61.0
3位	大阪府	55.6
4位	滋賀県	55.6
5位	岐阜県	55.5
6位	島根県	55.2
7位	山形県	52.9
8位	福井県	51.2
9位	兵庫県	51.1
10位	岡山県	50.8

<出典：
厚生労働
省「医療
施設調
査」(2005)
>

(図表3—②) 医療施設に従事する医師数(人口10万人当り)
の都道府県ランキングと上位3都県の推移

順位	都道府県名	人数
1位	京都府	272.9
2位	徳島県	270.0
3位	東京都	265.5
4位	高知県	263.1
5位	福岡県	262.8
6位	鳥取県	259.9
7位	長崎県	256.7
8位	岡山県	251.3
9位	島根県	247.9
10位	和歌山県	246.3



<出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、総務省「人口推計」(2006)>

4. 教育と学習



(テーマ)

家庭・学校・地域による協働教育を推進し、人間力を培い、
一人ひとりの将来目標の実現と明日の京都府づくりを担う
人づくりを行う

(データ等から見える京都府の「今」)

- ◎京都府では生徒一人当りの学校費を多く支出しています(表4-①)
- ◎京都府では大学・短大等の教育機関が充実しています(図4-②)
- ◎その中で、大学等への進学率が高い現状にあります(図4-③)
- ◎多くの外国人留学生が学び、交流しています(図4-④)

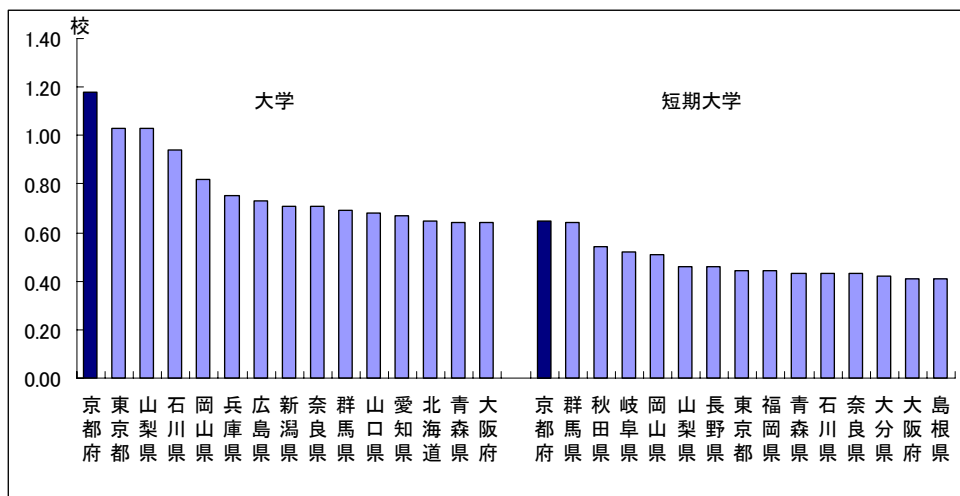
(京都府の「今」)

(表4—①)児童・生徒1人当り学校費「県・市町村財政合計」

(単位：千円)											
公立小学校			公立中学校			公立高等学校			特殊学校		
1位	島根県	993.2	高知県	1,317.9	高知県	1,215.4	佐賀県	12,463.1			
2位	高知県	961.1	東京都	1,129.0	山口県	1,159.7	福井県	12,128.5			
3位	鳥取県	892.3	島根県	1,051.4	京都府	1,150.6	山梨県	10,223.6			
4位	秋田県	866.8	徳島県	993.9	鳥取県	1,135.6	秋田県	10,042.3			
5位	徳島県	861.6	山梨県	984.9	東京都	1,130.6	高知県	10,019.8			
6位	鹿児島県	859.4	和歌山県	981.9	徳島県	1,101.1	島根県	9,944.7			
7位	福井県	854.9	山口県	971.0	大分県	1,086.2	京都府	9,688.0			
8位	山形県	851.1	京都府	969.3	岩手県	1,081.8	山形県	9,667.0			
9位	山梨県	848.3	秋田県	951.8	島根県	1,079.2	北海道	9,579.7			
10位	岩手県	840.5	青森県	923.9	青森県	1,068.7	石川県	9,414.3			
19位	京都府	766.5									
平均	全 国	712.2	全 国	857.2	全 国	992.7	全 国	7,607.3			

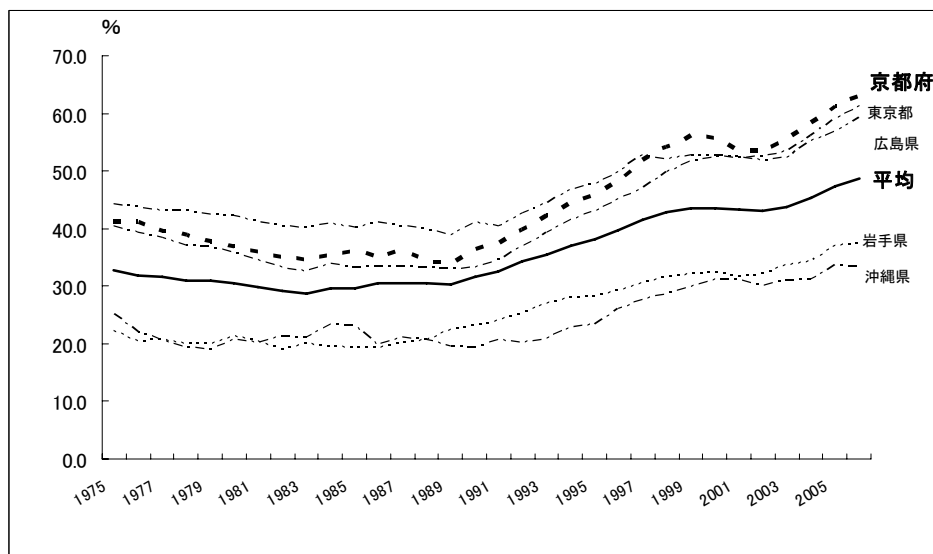
<出典：総務省「地方財政統計年報」「都道府県決算状況調」、
文部科学省「学校基本調査」(2006)>

(図4—②)大学・短期大学数(人口10万人当り)
上位15都道府県



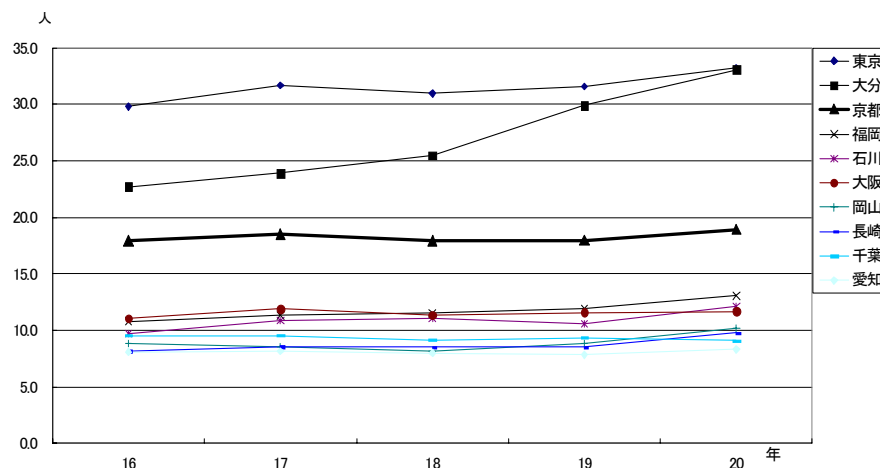
<出典：文部科学省「学校基本調査」、総務省「人口推計」(2007)>

(図4—③)高等学校卒業者の進学率の状況



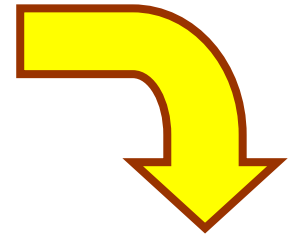
<出典：文部科学省「学校基本調査」>

(図4—④)都道府県別留学生数(人口1万人当り)



<出典：独立行政法人日本学生支援機構
「留学生受入れの概況」(H16～H20)>

5. 安全と基盤



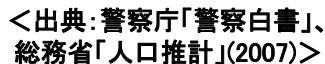
(テーマ)

地域において必要な定住条件を整備し、自由で安心な新時代のコミュニティを構築する

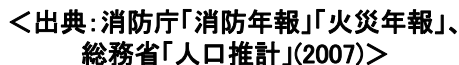
(データ等から見える京都府の「今」)

- ◎京都府には、消防や警察など地域の高い安心安全を支える基盤があります
(図5-①、②)
- ◎インターネット等の情報基盤も急速に普及しています(図5-③)
- ◎人と人の新たな「つながり」の芽として、NPOの数が増えてます(図5-④)
- ◎京都府では従来から外国人との異文化交流が盛んに行われています
(図5-⑤)

(図5-①)警察署・警察官等の状況
(可住地面積100km²当り)



(図5—②)消防署数他及び火災出火件数の状況(可住地面積100km²当り)



(図5-③)ブロードバンド世帯普及率
の推移



(図5-⑤)都道府県内外国人人口の推移
(人口10万人当り)



(図5—④)NPO法人認証数(人口10万人当り)
近畿2府4県及び東京都



(参考)上位10都道府県:2007年



平成21年度「明日の京都」ビジョン検討PTメンバー

(氏 名)	(所 属)	(氏 名)	(所 属)
新井 弘徳	府民生活部	青少年課	政策企画部 調査統計課
岩崎 宏紀	農林水産部	食の安心・安全推進課	々
岩田 高明	知事直轄組織	給与厚生課	々
上岡 華	府民生活部	府民力推進課	々
大野 義章	政策企画部	調整課	々
片岡 美佳	政策企画部	企画政策課	
四方 博子	知事直轄組織	広報課	政策企画部 計画課
高屋 奈尾子	商工労働観光部	染織・工芸課	々
田中 照彦	知事直轄組織	連絡調整チーム	々
水野 敬市郎	建設交通部	指導検査課	々
宮田 英樹	府民生活部	府民力推進課	
村尾 俊道	政策企画部	企画総務課	
村上 広志	文化環境部	自然環境保全課	
森田 倫明	建設交通部	監理課	
茂箆 秀敏	知事直轄組織	職員研修・研究支援センター	
吉田 好宏	農林水産部	担い手支援課	

<以上50音順>

(全25名)